

地域研究シリーズ

10

中東
政治・社会

長沢栄治 編

アジア経済研究所

地域研究シリーズ

10

中東
政治・社会

長沢栄治 編

アジア経済研究所

「地域研究シリーズ」の刊行にあたって

アジア経済研究所は日本における発展途上諸国研究の主要な機関の一つであるが、1990年に特殊法人としての創立30周年を迎え、いくつかの記念行事を行っている。この「地域研究シリーズ」の刊行もその一つである。

「地域研究」とは何を意味するかについてここで立ち入ることはできないが、それがこれまでアジア経済研究所の主要な柱の一つであったことは間違いない。創立30周年を機に、われわれは、これまでの研究の成果を振り返ることによって、地域研究とは何か、それはどのようにしてなされるのか、これまでそれによって発展途上諸国の何を明らかにしてきたか、何に役立つのか、そして、今後の課題は何かを示そうとした。その結果がこのシリーズの刊行である。

シリーズは14巻から構成され、平成3年から4年にかけて刊行される予定である。また英文による別巻の刊行も予定されている。

その第1巻は『地域研究論』と題されている。これは、地域研究の目的と方法、地域研究と社会科学、地域研究の当面の課題をあつかった書き下ろしの書物で、シリーズ全体の序論をなしている。

第2巻から第14巻までの各巻は別掲のように地域別に構成され、いずれも第I部の総論と第II部の収録論文の二つの部分からなっている。第I部の総論は、それぞれの編者が、その巻の主題の範囲でアジア経済研究所におけるこれまでの地域研究の主要な流れと成果、日本の研究状況におけるその位置づけ、今後の課題などを論じた書き下ろしの論文である。

これに対し、第II部は、その巻の主題についてこれまでアジア経済研究所でなされた地域研究の成果の中から平均およそ11~12本の論文の全文あるいは抜粋部分を原著者のご承諾を得た上で収録し、同研究所におけるこれまで

の主要な成果の概観が得られるように配列したものである。したがって第Ⅰ部と第Ⅱ部とはそれぞれ独自の価値を有し、併せて読まれるべきものと考えている。

第Ⅱ部への収録論文の選定はアジア経済研究所の公式の判断によるものではなく、あくまでもそれぞれの巻の編者の責任でなされたものである。多くの業績の中から何を取るかはそれぞれの編者にとって最も苦心の存するところであった。第Ⅰ部の叙述と第Ⅱ部への収録の仕方の中に地域研究についての各編者の考えがうかがえるといつてよいのである。

収録にあたっては、編集上の統一を図り、明らかな誤植を訂正したほかは、もとの論文になんらの変更も加えていない。また、抜粋にあたっては、それがもとの論文のどの部分に当るかが分かるように工夫した。収録をご承諾いただいた原著者のかたがたに厚くお礼申し上げたい。

このシリーズは、日本における発展途上諸国についての研究のかなり大きな部分を示したのものとして、各方面のかたがたに関心をもつていただけるものと信じている。

なお、英文の別巻は、第1巻および第2巻から第14巻までの第Ⅰ部をもとにして、アジア経済研究所における地域研究の成果が英語の読者に理解されるように構成する予定である。

シリーズ作成の母体となったのは地域研究部におかれた「地域研究の課題と展望」研究会で、その委員は各巻の編者および清水元の諸氏である。しかし、この研究会では、それぞれの分担はあっても、シリーズを共同の所産とするために地域研究の考え方や論文収録の基準などについて繰り返し熱心な討議を行ったが、その際にはいつも研究所内から委員以外の多くの人々も参加した。また、このシリーズが30周年記念事業の一つであるということから、研究所内の各部門がさまざまな形の援助を惜しまれなかった。ここでは特に加藤孝之、服部民夫、岩佐佳英、橋本眞治、重城忠純の各氏のお名前を記したい。さらに、アジア経済出版会社長の田中生男氏はこのシリーズに深く関心を示され、実際にシリーズ刊行の仕事を担当された同出版会のかたがたか

らは編集上いくつもの有益な提案をいただいた。30年間の地域研究の検討と整理という面倒な仕事をともかくも軌道に乗せることができたのはこれらすべてのかたがたのおかげである。ここに心から感謝の意を表したい。

平成3年3月

「地域研究の課題と展望」研究会主査 山口博一

[凡 例]

1. 第 I 部の総論は編者による書き下しの論文である。その中の引用文献はおおむね著者名 [番号] の形式で示し、文献名は総論末に「引用文献」として著者名の五十音順に掲載した。
2. 第 II 部で既発表の論文を収録するにあたっては、それぞれの論文の第 1 ページ上部に、書名(または雑誌名, 巻号), 発行所名, 発行年などを掲載し, 省略部分をも含めた全体の目次を掲げた。
3. 原論文は加筆修正を行わずに, 発表時のままの形で収録した。ただし, 編集上の統一のために以下の点に留意した。
 - ① 原論文が縦組の場合は横組に変更し, 同時に漢数字をアラビア数字に改めるなど, 横組用の体裁にととのえた。
 - ② 章, 節などの番号は I, II, III あるいは 1, 2, 3 などの形式に統一した。
 - ③ 原論文の省略については, 「【前略】……」「……【中略】……」「……【後略】」などとし, 部分的な省略は「【略】」として示した。
 - ④ 図表の表示は原論文に付された番号を原則としてそのまま掲載した。原文の省略に伴い図表の番号が飛ぶことがある。
 - ⑤ 原論文中の図表を収録しない場合には, 【略】として示した。
 - ⑥ 注の番号は変更せず示した。原文の省略に伴い注の番号も飛ぶことがある。注記の方式は文中右肩に統一した。節ごとに注が付されている場合には, まとめて論文末に掲げた。脚注の場合には通し番号を付して論文末に掲げた。省略によって注の内容が不明確になる場合には, 引用文献名等を補った。
 - ⑦ 原論文の明らかな誤植は訂正した。また, 部分的に編者による説明が必要な場合には, 【……—編者】として文中で補った。

目 次

第 I 部 総 論

はじめに 5

第 1 章 日本の中東研究とアジア経済研究所における研究の歩み 7

I 日本の中東研究をめぐるいくつかの問題点 7

II アジア経済研究所における中東研究の歩み 21

——「政治・社会」の領域を中心にして——

第 2 章 中東政治・社会研究における主要な問題領域 29

I 重層的な政治支配と民族運動 31

II 政治体制と権力構造 35

III パレスチナ・イスラエル研究 41

IV イスラム化と社会統合 44

V 都市化と人口移動 48

VI 伝統的な社会構造と近代化 51

むすびに——「中東」地域概念をめぐる—— 57

引用文献 61

第 II 部 中東政治・社会論

第 1 章 重層的な政治支配と民族運動

1 1930年代のアラブ地域の民族主義と権力構造 板垣雄三 77

第2章 政治体制と権力構造

- 2 モロッコ憲法に関する一考察 安藤勝美 99
- 3 エジプトの政治変動 伊能武次 116
—サダト体制と政治エリート—
- 4 ムバーラク体制の政治経済学 清水学 137

第3章 パレスチナ・イスラエル研究

- 5 イスラエルの政治変動に関する基本的視点 大岩川和正 151
- 6 現代イスラエルにおける宗教的尖鋭主義 池田明史 165
—その政治的理解の問題点をめぐって—

第4章 イスラム化と社会統合

- 7 中東のエスニック紛争と統合の展望 宮治一雄 187

第5章 都市化と人口移動

- 8 都市化と人間類型 林武 207
—カイロ市井人の理想像—
- 9 アンカラのスラム 加納弘勝 230
—社会経済危機と自暴自棄型の社会的態度—

第6章 伝統的社会構造と近代化

- 10 エジプトにおける共同体 中岡三益 250
—財産占取の形態と主体にかんするノート—
- 11 エジプトの農村 木村喜博 261
—ナグウ・タラハーンの家族構造—

中 東
政治・社会

ながさわえいじ
長沢栄治 (アジア経済研究所地域研究部)

主要著作

『文献解題 東アラブ近現代史研究』(共著)

アジア経済研究所 1989年

『東アラブ社会変容の構図』(編著)

アジア経済研究所 1990年

中東 政治・社会

地域研究シリーズ10

1991年3月30日発行◎

定価3193円(本体3100円)

編者 長沢栄治

発行所 アジア経済研究所

東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(3353)4231(代)

発売所 アジア経済出版会

東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(3353)1640

振替 東京5-143692

印刷所 勝美印刷株式会社

ISBN4-258-22010-8 C3330

地域研究シリーズ

10

中東
政治・社会

定価3193円[本体3100円]

ISBN4-258-22010-8 C3330 P3193E